

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆25年世界成長2.9%に下げ OECD経済見通し、米関税負担重く

・経済協力開発機構(OECD)は3日発表した経済見通しで、2025年の世界の成長率を2.9%と予測した。3月時点より0.2ポイント引き下げた。トランプ米政権による関税引き上げを受けた貿易や投資の伸び悩みが深刻で、特に米国では成長鈍化とインフレが同時進行する不安定な状況が続くとみる。

◆出国税収入が5年ぶり最高に 24年度、政府は増額検討

・2024年度に出国時にかかる「国際観光旅客税」(出国税)の収入が5年ぶりに過去最高を更新する見通しに。円安などを追い風にインバウンドが急増したため。政府は観光需要の拡大を見据え、課税額の引き上げによる増額確保を検討。24年度の国際観光旅客税からの収入は、25年4月までの累計で481億円で、前年同期比33%増。

◆「給与増減率」開示要請 金融庁、企業統治指針3回目改定へ

・金融庁は、2025事務年度(25年7月～26年6月)にコーポレートガバナンス・コード(企業統治指針)の改定を検討。スタートアップや地方など投資先の多様化を求め、人的資本に関する開示の充実に向けては従業員の給与の増減率などの開示も要請する。有識者会議で表明。企業が持続的に成長するため、投資の多様化を求める。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆パナソニックHD系、リノベ費込みの中古住宅検索サービス

・パナソニックホールディングス(HD)傘下で住宅設備を手掛けるパナソニックハウジングソリューションズは、リノベーション費用込みで中古住宅を検索できるサービス「リノリッチ」を始めたと発表。施主は工事費による予想外の予算圧迫を防ぎ、初めから希望に合わせた住宅を検討できる。まずはマンションを対象に提供を始める。

◆ノジマやニトリ「備蓄米はチャンス」 高性能炊飯器・米びつ販売増

・「令和の米騒動」が家電や雑貨などの販売現場にも影響している。政府備蓄米の放出を受け、家電量販店では古米でもおいしく炊ける炊飯器の販促を強化する。コメの長期保存の需要も高まり、米びつや冷凍保存容器などの売り上げも伸びる。騒動が収束する気配を見せない中、関連市場が伸びつつある。

◆25年版「土地白書」を閣議決定

・政府は2025年版「土地白書」を閣議決定。土地に関する動向や2024・25年度の基本的施策についてまとめている。25年度の住宅施策では、空き家などへの対策、老朽化マンションへの対応、優良田園住宅の建設促進などを主な施策として挙げた。24年度の土地に関する動向では、全国平均・住宅地・商業地のいずれも地価が4年連続で上昇。

《 注目商品 》

■コロナ、高圧カパワフル給湯タイプおひさまエコキュート

・太陽光発電を搭載した住宅の余剰電力を活用し、昼間の時間帯に沸き上げ運転を行うヒートポンプ給湯機。給湯圧力を従来機種約1.5倍に高めた高圧カパワフル給湯タイプで、住宅の2階や3階でも勢いよくシャワーを使用可能。「おそうじconnect」に対応。



■LIXIL、最適・最小化した新概念「ULキッチン」

・”次世代のウルトラライトキッチン”「ULキッチン」を発売。キッチンには収納量や機能性よりもデザイン性を求めるミニマル思考が増えつつあることを踏まえ、キッチンを構成する「デザイン」「セレクト」「スペック」の3要素を見直して最適・最小化。



■大建工業、防音室の可能性を広げる吸音断熱材

・「断熱吸音ウールR」は壁・天井用、「断熱吸音ウールB」は床用の、吸音性能を備えた断熱材。断熱材と吸音材を別々に施工する必要がなく、壁厚や床高を増やさず、部屋の広さを最大限確保した防音室の提案が可能。吸音性能は「吸音ウール」と同等以上の性能。

